13表現技法と解釈⑵

１　次の俳句について、後の問いに答えよ。

Ａ　（ａ　　　）散るか滝の音 松尾

Ｂ　（ｂ　　　）なほ露けしや 　〃

Ｃ　（ｃ　　　）滝の落ちこむりかな 井上

Ｄ　（ｄ　　　）抜けむる歯や秋の風 杉山

Ｅ　むまそうな雪が（ｅ　　　） 小林

Ｆ　（ｆ　　　）いますがごとし 北村

問１　（　）ａ〜ｆに入る擬音語・擬態語を次からそれぞれ選び、記号で書き入れよ。

ア　がつくりと　　　　イ　ほろほろと

ウ　ひょろひょろと　　エ　たうたうと

オ　まざまざと　　　　カ　ふうはりふうはりと

問２　Ｄと同じ季節の俳句を二つ選び、記号で答えよ。

（　　　）（　　　）

問３　句切れのない俳句を二つ選び、記号で答えよ。

（　　　）（　　　）

問４　次の鑑賞文に該当する俳句を選び、記号で答えよ。

①　季節の推移に合わせて、生命の衰えを実感する。 （　　　）

②　風もないのに次々に急流に散り落ちる花びら。 （　　　）

③　死者を供養する盂蘭盆での思い。 （　　　）

２　次の俳句とその解説文を読んで、後の問いに答えよ。

　りの寝るやひとりの親のそば

　［　Ⅰ　］というのはいまでいうお盆休みのことだろうか。待ちに待った休みが来て、奉公に出ていた息子が親の元に帰ってきた。久しく会えなかった間の話は尽きない。（中略）ここで「ひとりの親」というのは［　Ⅱ　］のことだろう。「一人の親」というのと、「親の一人」というのでは①意味が違う。女手ひとつで苦労して育てた息子だからこそ、しさも人一倍だ。布団を並べて床についてからも話は尽きないが、いつの間にか疲れて息子は寝てしまう。そんな親子の情愛が余すところなく伝わってくる。 （の文による）

問１　冒頭の句中から季語を抜き出し、その季節を答えよ。

▽季語＝〔　　　　　〕　▽季節＝〔　　　　　〕

問２　冒頭の句中から切れ字を抜き出して答えよ。

（　　　）

問３　［　］Ⅰに入ることばを冒頭の句中から抜き出して答えよ。

〔　　　 　　　〕

問４　［　］Ⅱに入ることばを次から選び、記号を○で囲め。

ア　父親　　イ　母親　　ウ　祖父　　エ　祖母

問５　―線部①について、「一人の親」と、「親の一人」の違いを簡潔に答えよ。

▽一人の親＝〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

▽親の一人＝〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

【解答】

１　問１　ａ＝イ　ｂ＝ウ　ｃ＝エ　ｄ＝ア　ｅ＝カ　ｆ＝オ

　　問２　Ｂ・Ｆ

　　問３　Ｃ・Ｅ

　　問４　①Ｄ　②Ａ　③Ｆ

２　問１　▽季語＝藪入り　▽季節＝秋

　　問２　や

　　問３　藪入り

　　問４　イ

　　問５　▽一人の親＝たった一人の（一人で子育てをした）親

　　　　　▽親の一人＝二人いる親（両親）のうちの一人

ポイント

１　問２　Ｄは秋の句。Ａ「山吹」＝春、Ｂ「女郎花」＝秋、Ｃ「茂り」＝夏、Ｅ「雪」＝冬、Ｆ「魂祭」＝秋。

　　問３　Ｃ・Ｅ以外はすべて二句切れの句。

２　問１　「藪入り」は、住み込みで働く奉公人が休暇をもらって実家に帰る日。年に二度、正月と盆にあった。ここは解説文に「お盆休み」（旧暦では七月）とあるので、季節は秋となる。

　　問２　「切れ字」は句切れとなる語。詠嘆を表す。